

***塩と光の役割**

「あなたがたは地の塩です。」「あなたがたは世の光です。」同じような意味合いの言葉を繰り返すことによって、イエス様は、私たちがどのような存在なのか、強調して教えてくださっている。

聖書では「塩」が次のように用いられている。1、味付けをする（レビ2:13、ヨブ6:6） 2、腐るのを防ぐ（防腐剤）（エゼキエル16:4） 3、きよめる（第二列王記2:19-22）塩は、昔から今も欠くことができない大切な存在である。人間の身体は0.3-0.4%が塩分だと言われる。割合としては僅だが、生命が維持されるためにはどうしても必要な成分である。また、光は「闇に対する光」として描かれることが多い。救い主イエス・キリストこそ世を照らすまことの光である。（ヨハネ1:9）

***地の塩、世の光として存在するキリスト者**

主イエス様は、御許に集まっている弟子たちや付いて来た群衆に対して「あなた方は、地の塩であり、世の光である」と明言された。ここで強調しておきたいことは、「あなたは地の塩になれ!」、「世の光になれ!」と求めているのでは無いと言うことだ。すでに、「あなた方こそ地の塩です」、「あなた方こそ世の光です」と断定しているのである。これは、主イエス・キリストご自身が、私たちにとって「私の塩」として、あるいは「私の光」として関わって下さったからこそ言える言葉なのだ。

主イエス・キリストが、真っ暗闇で身動きも取れずにうずくまっている私のまことの光となって下さった。私は、すでにキリストの光に照らされているのだから、キリストの光を反射しながら生きる者になった。（エペソ5:8）

また、キリストが、私の人生に関わって下さり、良い塩梅（あんばい）の味付けをして下さった。救い主イエス・キリストにあって、私たちの人生は希望と喜びに満ちるものになったのだ。たとえ、苦しいこと、悲しむことがあったとしても、それは主の試練であると受け止めて生きるなら、主は私を実に味わい深い人格へと創り変えて下さるのではないだろうか！（コロサイ4:6）主なる神様が、時にはやさしく、時には厳しく私たち（教会）と関わって下さったがゆえに、私たちも他人に関わる時、いつも親切で、塩味の聴いたことばを語るようになっていくのだ。

「地の塩」、「世の光」であるキリスト者として隠れることなく、キリストがあがめられるように歩んで生きたい。